

第77回 石川県中学校相撲大会

- 1 主 催 石川県中学校体育連盟 石川県教育委員会
(一社) 石川県相撲連盟 金沢市教育委員会
- 2 主 管 石川県中体連相撲競技部 加賀地区中学校体育連盟 金沢市中学校体育連盟
- 3 期 日 令和6年7月13日(土) 開会式 10時00分～ 競技開始 10時30分～
- 4 会 場 石川県立武道館屋内相撲場 〒920-0811 金沢市小坂町西8番地3号 TEL(076)251-5721

5 競技方法

1) 試合方法

① 団体

予選3回戦の勝数、得点により8チームまたは16チームを選抜し、トーナメント方式で優勝を決定する。3位決定戦は行わない。

* 参加チーム数が少ない場合は、この限りではない。

② 個人

団体出場選手全員と個人のみの参加選手が規定した体重別トーナメント方式を行い、各階級別の優勝を決定する。

6 競技規則

- 1) (公財)日本相撲連盟の競技会規程及び審判規程ならびに審判規程補則を用いて行う。
ただし、団体決勝トーナメントは、県中体連相撲競技部内規を優先する。
- 2) 選手はアンダーパンツとまわしを着用し、校名票も必ずつける。
- 3) 選手は主審の指示に素直に従って行動する。勝負の判定はその場の審判により決定し、他の「疑義の申し立て」は認めない。
- 4) 監督または選手が主審の判定に「疑義の申し立て」をしたときは、審判協議の結果そのチーム又は選手に以後の試合出場を停止することがある。
- 5) 正選手同士のオーダーの変更は許されない。交代は、交代選手が事故者の位置へ出場する。
- 6) 礼儀を重んじ、礼法は正しく中学生らしい行動をとる。

7 参加規定

1) 団体

- ① 自由参加で、1校(1団体)は2チーム以内までとする。
- ② 1チームの編成は監督1名、コーチ1名、選手3名、交代2名以内とする。
- ③ 合同チームによる出場は認めない。
- ④ 男子に限る。

2) 個人

軽量級 65kg未満 中量級 85kg未満 重量級 85kg以上

- ① 個人は団体出場チーム(交代も含む)の他に、各校(各地域クラブ活動)3名まで申込を認める。
- ② 個人のみ出場校(出場地域クラブ活動)も3名まで申込を認める。
- ③ 軽量級・中量級は規定に基づき計量を行い、合格した選手の出場を認める。
- ④ 男子に限る。

3) 監督・コーチは以下のようにする。

【中学校】

監督は当該校の校長・教員・部活動指導員であり、コーチは当該校の教員または学校長の承認を得た外部コーチでもかまわない。なお、外部コーチは、所定の承認書を提出すること。

【地域クラブ活動】

監督及びコーチは、4月石川県中学校体育連盟への報告時に記載があった代表者・指導者とする。

8 参加申込

- 1) 参加校は、各参加申込書に参加料を添えて郡市中体連事務局へ期日までに提出する。
- 2) 各郡市中体連事務局は、申込を取りまとめ、参加料を添えて県中体連事務局へ期日までに提出する。
- 3) 地域クラブ活動は、参加申込書の原本を石川県中学校体育連盟事務局に直接提出（申込期日着による郵送可）とし、写しを各競技専門委員長に送付（電子媒体可）する。参加料は直接振り込む。

9 参加料

参加登録選手1名につき1,000円とする。

10 表 彰

- 1) 団体 1位 優勝旗・優勝杯 個人 軽量級の部 1位 優勝杯 2位 楯
2位 準優勝杯 中量級の部 1位 優勝杯 2位 楯 (3位まで表彰)
3位 3位杯 重量級の部 1位 優勝旗 2位 楯

11 北信越・全中大会の出場について

- 1) 北信越大会団体の部への出場権
 - ① 団体上位 4 チームが出場権を得る。
 - ② 上位 4 チームに同一校（同地域クラブ活動）が進出した場合は、第 5 位チームによる出場決定戦によって選抜する。なお、出場決定戦の対戦順はその時点で抽選を行う。
 - ③ 北信越大会申込の県内順位は本大会の上位 1，2 位がそれぞれ 1，2 位枠となり、準決勝で 1 位校に負けたチームが 3 位枠、2 位校に負けたチームは 4 位枠となる。また、出場決定戦によって決定した場合はその勝敗通りとする。
- 2) 北信越大会個人の部への出場権
 - ① 個人各階級上位 4 名が出場権を得る。（県体と同じ階級に出場しなければならない）
 - ② ただし、団体出場選手（交代選手も含む）は個人にも出場できるので、団体出場選手が各階級個人上位 4 選手に入った場合は、その選手を除き繰り上げて選抜する。その場合、人数枠の関係で出場決定戦になる場合もあり得る。なお、出場決定戦の対戦順は、その時点で抽選を行う。
- 3) 全中大会（全国中学校相撲選手権大会）団体の部への出場権
 - ① 団体の出場権は、1 位のチームが得る。（参加枠が変更した場合は、専門部で協議する）
- 4) 全中大会個人の部への出場権（3 名）
 - ① 個人は体重別トーナメント戦により、重量級 1 位選手が出場 1 位枠を得る。
 - ② リーグ戦を行う前に、軽量級 1 位と中量級 2 位のリーグ戦出場決定戦を行う。
 - ③ 軽量級 1 位または中量級 2 位の選手、中量級 1 位の選手、重量級 2 位、3 位の 2 選手（1 位を除く）の計 5 選手によるリーグ戦（各階級別トーナメント戦の決勝、準決勝の対戦結果をリーグ戦の成績結果とする 9 または 8 試合のみ）によって上位 2 名が出場権を得ることができ、第 1 位、第 2 位の選手それぞれが全中個人出場 2 位枠、3 位枠と決定する。

	A	B	D	E	F	勝敗	結果
軽量級 1 位 A							
中量級 1 位 B							
重量級 2 位 D					○		
3 位 E							
3 位 F			×				

	B	C	D	E	F	勝敗	結果
中量級 1 位 B		○					
中量級 2 位 C	×						
重量級 2 位 D					○		
3 位 E							
3 位 F			×				

《対戦例》

1 A-F	4 B-F	7 E-F
2 B-E	5 A-E	8 A-B
3 A-D	6 B-D	9 D-E

《対戦例》 ① B - F ④ E - F ⑦ C - F
 ② C - E ⑤ C - D ⑧ D - E
 ③ B - D ⑥ B - E

- ④ 参加枠が変更した場合は、専門部で協議する。

12 その他

- 1) 計量が必要な軽量級・中量級に出場する全ての選手は、本大会当日大会会場にて監督会議までに計量をすませる。
朝の時点で計量に合格できない場合は、団体決勝トーナメント開始までに受け直すことを認める。
ただし、それでも合格できなければ個人戦出場は認められない。
- 2) 監督会議は本大会当日、大会会場にて行う。
- 3) 大会での怪我に対する対処は、応急手当のみ行う。

13 北信越・全国大会に出場した団体は、大会出場報告書を提出すること（様式F-1・2または様式G-1・2）